

2020年1月8日

株式会社東急モールズデベロップメント

東急池上線・JR 山手線「五反田」駅直結の商業施設「レミイ五反田」

2020年春

「五反田東急スクエア」へ屋号を変更

～ 待望の“東急スクエア”ブランドとして生まれ変わります ～



五反田東急スクエア 4F 入口 イメージ

株式会社東急モールズデベロップメント（本社所在地：東京都渋谷区、代表取締役社長：秋山浄司）が運営する商業施設「レミイ五反田」は、2020年春、屋号を変更し、「五反田東急スクエア」として生まれ変わります。核テナントとして2階のワンフロアに、コスメ、ファッション、フードなど上質なライフスタイルを提案する、株式会社東急百貨店の新業態「+Q（プラスク）スタイル」が新規出店。加えて、地域住民や駅利用者、オフィスワーカーの利便性をより一層高めるために、改装および一部店舗の入れ替えも実施¹します。

このたびのリニューアルは、都心に立地する「レミイ五反田」を“東急スクエア”へ屋号変更することで、当社が運営する“東急スクエア”ブランド²の認知度をさらに向上させることを目的としています。「レミイ五反田」においては“東急スクエア”ブランドになることで、顧客基盤の拡大につながります。さらに、ベンチャー企業が増加し、ますます注目を集める五反田エリアにおいて、東急百貨店の新業態出店など東急グループ各社とも連携を図り、東急グループの存在意義を高めます。

「五反田東急スクエア」へのリニューアルに伴い、株式会社東急モールズデベロップメント レミイ五反田 総支配人 小田原健祐（おだわら・けんすけ）は「レミイ五反田は2008年4月の開業以来、段階的なリニューアルによりお客さまのニーズに対応し、街の一員としての役割を果たしてまいりました。その信念は引き継ぎ、『五反田東急スクエア』として“気が利く毎日、気がつく毎日”をコンセプトに、お客さまの日常にさらに寄り添う商業施設を目指します。今後も五反田エリアの中心に位置する商業施設として、東急グループ各社とも連携し、街の発展に貢献してまいります」と述べています。

¹ 改装・新規店舗の情報は、順次、公式ウェブサイトもしくはニュースリリースにて発表します。

² 「武蔵小杉東急スクエア」「青葉台東急スクエア」「みなとみらい東急スクエア」など、現在7つの“東急スクエア”ブランドを展開。

■ 「+Q（プラスク）スタイル」について

株式会社東急百貨店による新業態。同社は、目利き力・編集力を生かし、エリア特性やマーケットにあわせて編集する専門店業態「+Q（プラスク）」を展開しており、コスメやファッション雑貨の専門店を出店しています。今回出店する「+Q（プラスク）スタイル」は、ファッションから生活雑貨・フードまでのさまざまなカテゴリーや魅力を編集したトータル提案型の新たな専門店業態で、コスメ、ファッション、フードの3つのゾーンと期間限定のポップアップで構成されます。日常シーンで使えるワンランク上の上質なアイテムと、ギフトとしても喜ばれるお気に入りが見つかるセレクトストアです。



※ 画像はイメージです

■ 五反田東急スクエアのロゴについて

かつて大名屋敷の下に田畑が開け、水田の面積が五反であったことが地名の由来と言われている「五反田」。「五反の水田」に野花が咲き、稲穂が実るまでの、自然が織りなす風情をデザインで表現。都心であっても四季を感じることができる五反田で、命の源であるお米を育てるためには欠かせない水田のように、訪れる人々にとって欠かせない、日常に寄り添う商業施設を目指す思いが込められています。



五反田東急スクエア ロゴ

五反田東急スクエア 概要

名称：	五反田東急スクエア（2020年春から）
所在地：	〒141-0022 東京都品川区東五反田2-1-2
営業面積：	8,021㎡
テナント数：	37（予定）
アクセス：	東急池上線、JR山手線、都営浅草線「五反田」駅
営業時間：	ショップ：10:00～21:00 レストラン：11:00～23:00
URL：	www.gotanda-tokyu-square.com

株式会社東急モルズデベロップメントについて

株式会社東急モルズデベロップメントは、商業施設（ショッピングセンター）の運営を行う、東急グループの一員。東急線沿線を中心に、駅直結もしくは駅前などの好立地において、駅利用者や地域にお住まいの方々のさまざまなライフスタイルに合わせた店舗ならびにサービスを提案し、地域密着型の商業施設を展開。主な運営施設は、「二子玉川ライズ・ショッピングセンター」「たまプラーザ テラス」「港北 TOKYU S.C.」、「武蔵小杉東急スクエア」などの“東急スクエア”ブランド、東急線駅構内・駅近隣に展開する商業施設ブランド「etomo（エトモ）」など。2019年11月に開業した「グランベリーパーク」の運営業務を東急株式会社から受託し、現在、29のさまざまな形態の商業施設を運営。